

NAKAHARA JUNICHI

— 美しく装うことの大切さ —



『それいゆ』第31号 1954年
©JUNICHI NAKAHARA/HIMAWARIYA

中原淳一展

令和5年 7/15(土) - 10/1(日)

開館時間／9:30～17:00(発券16:30まで) 休館日／月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
観覧料／一般700円(550円)、高・大学生300円(250円)、小・中学生100円(50円)、未就学児無料
※()内は20名以上の団体料金



主催／長岡市教育委員会・長岡市 主管／長岡市栃尾美術館
企画／七彩社 協力・監修／株式会社ひまわりや
後援／新潟日報社、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、
長岡新聞社、栃尾タイムス社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、
TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13
TEL: 0258-53-6300 FAX: 0258-53-6370

中原淳一展

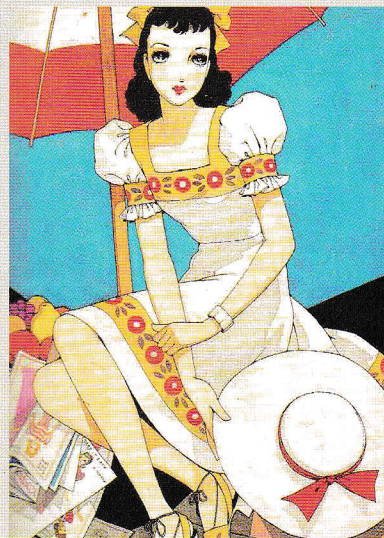
— 美しく装うことの大切さ —

令和5年 7/15(土) - 10/1(日)

戦前から戦後にかけて画家、ファッションデザイナー、イラストレーター、編集者など、多方面で活躍した中原淳一（なかはら じゅんいち 1913-1983）。戦局が悪化する不安定な情勢のなか、日々の暮らしの中でできる服装や髪形、ライフスタイルの提案などを雑誌等で発表していきます。そして、日常の暮らしの中で美しく装うことが生活を楽しむことへつながり、精神的な豊かさとなることを教えてくれました。本展では、昭和の女性の生き方に影響を与えた人気雑誌『少女の友』『それいゆ』『ひまわり』の挿絵などを通して、中原淳一の功績を振り返るとともに、その魅力に迫ります。



中原 淳一



扉絵原画『さきのノ絵本』1940年



表紙原画『ジュニアそれいゆ』第28号 1959年



表紙原画『ジュニアそれいゆ』第6号 1955年



『それいゆ』第51号 1958年

会期中のイベント

●つきいち☆アート

7/23(日) ペーパービーズのアクセサリ

8/27(日) ダンボール織りでアート

9/24(日) おしゃれなBOXづくり

いずれも13:30~15:00 会場：アトリエ 定員：各8名

※申込方法・参加費等は、随時、市政日より、HP等でお知らせします。

●とちびまつり

9月30日(土)・10月1日(日) 10時~16時

会場：アトリエ・ギャラリー

県内のクラフト作家が参加します。

※簡単なワークショップや販売など

次回展覧会のおしらせ

「写実の軌跡II 椿悦至展」10月11日(水)-11月19日(日)

アクセス

- JR長岡駅大手口11番線から見附経由栃尾車庫前行バス60分または同駅東口4番線から新榎トンネル経由栃尾車庫前行バス45分、「中央公園前」下車、徒歩15分。または終点「栃尾車庫前」下車、タクシーで5分
- JR長岡駅東口からタクシーで20分
- 関越自動車道長岡 I.Cから40分
- 北陸自動車道中之島見附 I.Cから30分

